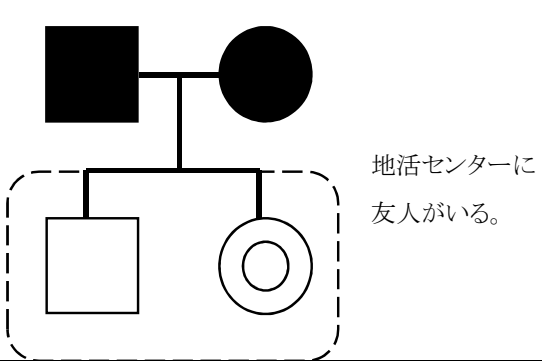


相談受付票

		相談日	平成30年8月4日			
受付 No. 20 ふりがな かの みほこ 氏 名 菅野 美穂子 様		相談方法 (来所、 電話、文書、ファクシムリ 、訪問) ※入院中の栃の丘病院にて実施。 経由機関 相談支援センターりんご 担当者 椎名相談支援専門員				
精神保健福祉手帳 2級 性別 (男・女) 年齢 51歳 (生年月日:昭42・1・2) 現住所 栃の丘市蔵町1-2-3 T E L 000(333)5678 障害名: 精神障害(統合失調症) F A X 000(333)5678						
相談者氏名 菅野美穂子 障害者との関係 本人 住所 同上 TEL 同上 FAX 同上		その他の連絡先 氏名 菅野 雅人 (兄) 住所 同上 TEL 同上 FAX 同上				
家 族	続柄	氏 名	年齢	職業・学校	同居 別居	特記事項
	父	菅野 正義	64	—	—	平成15年 死亡
	母	菅野 雪江	64	—	—	平成 17年 死亡
	兄	菅野 雅人	56	自動車整備士	同居	平成30年 脳梗塞 で倒れる。現在自 宅療養中。
[相談内容] 今年の1月にお兄ちゃんが倒れて、今も仕事を休んでリハビリを続けている。自分が帰ったらまた心配や迷惑をかけてしまうかもしれない。担当医からは入院治療も終わってるからいつでも退院できると言われているけど、どうしたらいいのか分からなくて相談したら、退院後の生活のアドバイスしてくれる椎名相談支援専門員を紹介してくれた。椎名さんとの話の中で、今は障がいがあってもいろんな暮らし方があることを教えてもらって、その中でグループホームのことを聞いて、そこならお兄ちゃんにも迷惑をかけないで安心して生活できるかな・・・って思ったからいろいろ教えてほしい。		[家族構成] 年齢・主介護者・他の介護者・インフォーマルサポート等記入、同居者は一線で表示 				
[現在受けているサービス] ※現在入院中 入院前は、地域活動支援センター(2/w)の利用があった。						
[対応者所見・その他の情報] 病状の安定に伴い、退院に向けて検討されているケース。自宅での生活を希望しているが自宅療養中の兄のこと、本人の将来的な暮らしを考え、一定期間のグループホームの利用の方向性が高い。そうなった場合、退院と同時にサービス利用となる。急激な環境変化は否めないが、生活状況の安定を図ることで、本人の安心・病状安定へと繋がっていくものと考え。		[対応状況] 写真等を使用しながらグループホームの説明をしたあとに本人から見学の希望があった。そのときは兄も同席し、利用に向けてのアセスメントも行う。 次回相談予定 30年 8/24 (木)				